

全国のモデルとなるような安全な施設・地域に役立つ施設を目指して



エコアくまもとだより

※「エコアくまもと」は、熊本県公共関与産業廃棄物管理型最終処分場の愛称です。

令和8年(2026年)3月 第33号

廃棄物の受入状況

<受入実績(重量ベース)> (令和8年1月31日現在)

(単位:t)

種別	品目	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	総計	比率(%)	
		年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度※1			
		3月	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計			
産業廃棄物	燃え殻		10.95	906.75	82.57	61.12	270.60	1,969.21	1,294.28	800.08	1,464.47	1,264.81	8,124.84	2.47	
	汚泥(無機性)		105.75	15.70	208.32	481.93	1,656.82	629.66	553.24	190.82	66.52	128.34	4,037.10	1.23	
	汚泥(有機性)		155.77	29.32	3.39	46.04	426.62	72.16	14.64		0.05		747.99	0.23	
	廃プラスチック類		34.45	424.93	691.33	717.61	381.45	427.81	359.56	334.69	153.78	107.59	3,633.20	1.10	
	シュレッダーダスト		49.98	657.52	163.08	470.91	820.85	511.06	438.72	312.24	176.78	297.06	3,898.20	1.18	
	紙くず*					78.96	20.37							99.33	0.03
	木くず*		0.58	2.17		132.32	17.73	59.62	9.11					221.53	0.07
	動植物性残さ			110.64	185.21	179.68	17.28	14.43	1.39		1.65			510.28	0.16
	ゴムくず*		0.08											0.08	
	金属くず*				1.61		0.05							1.66	
	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず		16.22	1,212.27	1,629.80	977.63	955.44	1,118.16	1,175.08	1,238.69	708.55	652.21	591.84	10,275.89	3.12
	廃石膏ボード		18.22	35.30	90.23	202.42	169.40	231.67	295.85	143.82	115.87	336.02	110.57	1,749.37	0.53
	石棉含有廃棄物(非飛散性アスベスト)			9.45	198.79	201.25	160.58	153.08	751.60	1,014.67	650.93	492.64	489.73	4,122.72	1.25
	鉱さい				2.54	65.76	93.01	5.91	89.13	110.25	111.36	700.97	620.93	1,799.86	0.55
	がれき類		333.94	4,485.07	169.48	1,458.91	2,994.60	1,427.95	2,243.15	448.92	1,443.99	880.20	15,886.21	4.83	
	ばいじん					0.92	1.05	2.97	3.42		95.65	364.11	271.72	739.84	0.22
	廃石棉等					10.84		0.01	0.78	25.61	1.95		0.04	39.23	0.01
	政令13号廃棄物			45.40	15.35	20.20								80.95	0.02
	合計		34.44	1,993.92	8,570.42	2,981.48	5,006.88	8,116.20	7,427.31	7,450.55	3,771.06	5,853.19	4,762.83	55,968.28	17.01
	災害廃棄物	ガラス陶磁器・がれき類		28,375.70	2,703.47	0.81		1,986.39	892.86	12.97			1,765.09	35,737.29	10.86
混合廃棄物			28,058.59	74,435.01	1.28		4,615.66	33,331.77	1,989.55			184.52	142,616.38	43.34	
スレート、サイディング、石膏ボード			23,055.78	17,445.01	25.58		4,479.52	6,180.64	26.85			6.84	51,220.22	15.57	
泥壁			36.23										36.23	0.01	
断熱材、発泡スチロール			332.33	218.64	0.10		210.15	137.59					898.81	0.27	
木毛板			1.57	11.97			17.38	108.72					139.64	0.04	
燃え殻			7.71	32.04									39.75	0.01	
廃プラ、農業ビニール			22.03	40.98			0.96	1.29					65.26	0.02	
石棉含有廃棄物(非飛散性アスベスト)				0.10									0.10		
金属を含む大型ごみ							507.48	72.54				47.15	627.17	0.19	
廃石棉等								15.87				※2	15.87		
合計				79,889.94	94,887.22	27.77		11,817.54	40,741.28	2,029.37			2,003.60	231,396.72	70.32
廃棄物合計			34.44	81,883.86	103,457.64	3,009.25	5,006.88	19,933.74	48,168.59	9,479.92	3,771.06	5,853.19	6,766.43	287,365.00	87.33

※1: R7(2025年度)の数値は、令和8年1月31日までの合計値です。

※2: 令和7年8月豪雨による災害廃棄物の受入合計値です。

令和8年度熊本県環境絵画コンクール

今年度は、県内111の小学校から1,497点の応募があり、その中から選ばれた特選12点のうち、4点を「エコアくまもと賞」として表彰しました。

入賞作品を使って製作した「2026くまもとエコカレンダー」は、県内の小学校等へ配布しています。

令和8年度も予定していますので、小学生の皆さん、奮ってのご応募をお待ちしています。

【エコアくまもと賞: 2026くまもとエコカレンダー掲載】



7月



9月



10月



11月

熊本県環境絵画コンクールは、熊本県環境センター、グランメッセ熊本との共催で、令和4年度から当事業団も主催者として参加しています。

イベントを開催しました！

エコアくまもとでは、楽しみながら環境について学べるイベントを開催しています。

○8月3日(日)に、「エコアで夏休みの工作デー&映画鑑賞会」を開催。ソーラーミニカー、ミニ風力発電機の作成と、さかなクンの絵本が原作となっている映画「ハコフグとみなまたの海」の鑑賞を通して、「環境」を考える機会にいただきました。



環境問題について楽しく学びました 🌸

○11月9日(日)に、「エコアのどんぐりデー」を開催。どんぐりペイントや松ぼっくりを使ったクリスマスツリーづくりを楽しんでいただきました。



個性豊かな作品ですね 🍎

○12月13日(土)に、「エコアくまもとでバードウォッチング」を初開催。師走の澄んだ心地よい空気の中、バードウォッチングを楽しんでいただきました 🌳



様々な種類の鳥を観察できました 🐦

今後もたくさんの自主イベントを予定していますので、多くの方のご参加をお待ちしています！

周辺民家井戸等水質調査について

令和7年度は、10月上旬に周辺5地区の52井戸を対象に調査を行いました。

結果は対象となった井戸の使用者へお知らせしております。

採水の際はご協力いただきありがとうございました。

安全推進委員会の開催

令和7年7月30日(水)および令和8年2月5日(木)に安全推進委員会を開催し、廃棄物の受入状況や水質モニタリング調査の結果、施設見学や環境学習の実施状況等を報告しました。

有機ふっ素化合物(PFOS, PFOA)については、熊本県から、本年度調査で監視井戸は前年度と同程度あるいは下回ったこと、周辺の井戸は全て指針値以下であったこと、及び今後の対応方針等の説明が行われました。

＜委員の皆様からの主な質疑＞

Q: 周辺民家井戸等調査で一般細菌や大腸菌が基準超過した井戸について、前回調査時はどうだったのか。

A: 前回調査時も同様に超過した井戸もあるが、今回初めて超過した井戸もあった。

Q: 今の状況であと何年くらい埋立できるのか。

A: 今後の廃棄物の搬入や災害発生等の状況により変わるが、現在のところ25年程度と考えている。

＜主な意見＞

・エコア利用者かどうか分からないが、町道(米田鬼王線)沿いを中心に、通行車両からと思われるビンやペットボトルのポイ捨てがある。



感謝状を頂きました！

エコアくまもとでは、ビオトープを整備するなど地域に生育していたホタルを呼び戻す取り組みをしています。

その一環で、維持管理を委託している鹿島の技術研究所からのホタル育成の技術支援を受け、2019年9月から南関町立南関第二小学校の4年生が、環境学習として、ホタル幼虫を育成し、川への放流を続けています。

この度、南関町立南関第二小学校四・五年生の皆様からホタル学習指導のお礼の感謝状をいただきました。

感謝状については、エコアくまもとホームページに掲載しますので、ぜひご覧ください。

